

労働災害が急増しています！

死亡 災害

全業種

7名

前年3件から

4名増加

【3月】建設業1名
【6月】建設業1名

【5月】建設業2名・道路貨物運送業1名
【10月】製造業1名・林業1名

死傷 災害

全業種

540名

前年451件から

89名増加

令和8年9月末現在 前年同期比 120%

1名あたり平均休業見込み 37.3日。災害の増加は、人手不足をさらに深刻にします。

特に増えている3業種

この3業種だけで、全体の増加89件の6割超を占めます

1 社会福祉施設



81名 +29名

前年比 155%

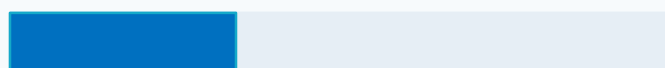
2 建設業



71名 +15名

前年比 126%

3 道路貨物運送業



44名 +10名

前年比 129%

業種別にみる「多発する事故の型」

社会福祉施設

81名 発生

転倒 34名
動作の反動・
無理な動作 26名

2類型で全体の約3/4



建設業

71名 発生

墜落 28名
転倒 12名

2類型で半数以上



道路貨物運送業

44名 発生

墜落 16名
動作の反動・
無理な動作 7名

激突 6名にも注意



年末は業務量・非定常作業等が増え、冬季は凍結・降雪・日没の早まりが重なります

いま必要なのは「全員参加」のリスクアセスメント

危険を見つける → 優先順位を決める → 設備・作業方法を改善する → 効果を確認する



まず今日、職場巡視と危険箇所の見える化を

10月から12月は「**急ぐ・暗い・滑る**」に要注意

労働災害をこれ以上発生させない。年末まで、基本動作をもう一度確認。



原因と対策 — 5つの重点



① 焦り・作業量増加

無理な工程を見直す。朝礼で当日の変更点・危険作業・応援者の役割を共有。



② 転倒、腰痛の防止

床の水濡れ・障害物を除去。無理な姿勢や一人作業は避けて器具等を使用。照明を確保。危険箇所を見える化。



③ 荷役・脚立での墜落、転落

荷台・ステップは三点支持。脚立は天板作業禁止、開き止めを確実にロック。



④ 大掃除・点検等の非定常作業

機械を停止し、電源遮断・施錠・表示。安全装置とカバーは作業後に復旧。



⑤ 冬道・夕暮れの交通事故

気象・道路情報を確認。冬用タイヤを早めに装着し、速度と車間に余裕を持つ。